

第2期江府町まち・ひと・しごと総合戦略検証結果

～持続可能な「3000人の楽しい町」～

【基本目標1】 新しい人の流れの創出

指標	目標数値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住基人口	2,757人（令和3年1月末） →2,400人（令和7年末）	2,648				
転入数	57人（令和元年度末） →60人（令和7年度末）	42				
転出数	114人（令和元年度末） →70人（令和7年度末）	75				

●【基本目標1】に対する個別評価

取組	策定時	目標値	実績値	状況	進捗評価	有識者からの意見	今後の対応方針
子育て環境満足度（「子ども子育て支援計画」策定時のアンケートにおける「満足」「ほぼ満足」の割合）	56% (H31年3月)	65% (R7年度末)	R6年度に評価	5年毎に環境満足度調査を実施。今後は、令和6年度にアンケート調査予定。（第1回H26.8月調査46.9%、第2階H31.3月調査56%）	B.順調	・支援がさらに充実されていると思われるので、状況のところにそのあたりを追記されたいのと、充実度から行くと目標値が低いようにも感じる。もっと上を目指し転入へとつなげたい。 ・子育て施策をPR発信して、整備される住宅に入っていただくようなことにつなげたい。	・住宅の整備に併せて、住宅を前面に出し、その住宅が素晴らしい自然環境の中にあり、子育て支援施策も充実しているといった、これまでとは違う切り口でのPRを検討する。
空き家情報バンクの増加件数	40件増加 (R2年末)	40件 (R7年末)	6	令和3年度末空き家バンク登録物件数56件。（内入居募集中7件、交渉・検討中4件、入居中36件、取下げ9件）直ちに居住いただけ優良な物件が少ない状況。	C.やや遅れている	・整備される新築住宅に目が向くと考えられるので、空き家バンクの利用促進について検討された。 ・空き家バンクへの登録が進まない理由を精査されたい。 ・家財処分は相当な苦労がかかる。 ・業務委託の形に成果報酬型を取り入れるなど検討されたい。 ・登録が進む施策をさらに検討されたい。	・どうやったら登録してもらえるか、新しい開拓策を検討する。 ・移住も含めて、さらに専門性がある体制が必要かなと考えている。
新たに整備した住宅等への世帯の転入	0世帯 (R2年末)	25世帯 (R7年度末)	0	令和4年度にPPP方式活用し事業者を決定、設計を行い、令和5年度に佐川地区に江府町移住促進住宅を12戸（賃貸）建設予定。	B.順調	・整備される新築住宅に目が向くと考えられるので、空き家バンクの利用促進について検討された。 ・どういった層を狙うか明確にし、市場調査を行うなり、うまく仕掛けをされたい。 ・就学だとか転入するタイミングがあるかと思う。そういったタイミングでアプローチする戦略を検討されたい。	・町へ移住される方によって思考が異なる。様子を見て対策を打つ。 ・住宅整備について反応は良いと感じている。狙いを定めて早めの募集を想定している。段階的にしっかりと意図とマーケットに狙いを付けて募集する。
住宅及び用地に関する相談件数	0件 (R2年度末)	100件 (R7年度末)	28	令和3年度空き地に関する相談は2件。住宅（空き家）に関する相談は26件。空き地バンクは未実施。（検討中）	B.順調	・相談の中身を分析されて、優先順位をもって対応されたい。興味を持って問い合わせいただいているのに、機会ロスを避けられたい。	・NPOと協議し、相談者の要望を共有する。 ・必要な補助制度をその都度検討したい。
ふるさと納税額	121,783千円 (R2年末)	196,132千円 (R7年末)	480,147千円 (R3年末)	令和3年度には申込サイト拡充などの工夫により寄付額が大幅に増加。令和4年度も引き続き堅調。	A.すでに達成	・寄附していただいたふるさと納税をさらなる寄附につなげる活用を検討されたい。 ・寄附していただいた方々とのつながりを強化されたい。 ・既に目標も達成されているので目標値も見直されたい。 ・商工会の奥大山ブランド商品も返礼品として強化したい。 ・奥大山道の駅で、返礼品をPRされ、道の駅での売上との相乗効果を図られたい。	・寄附金は基本的に教育環境や子育て環境の充実といった未来への投資に利用したい。 ・寄附をいただいたファンとのつながりを強化することにも取り組む。 ・道の駅でのPRは検討してみたい。

【基本目標Ⅱ】 産業の創出

指標	目標数値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特定事業協同組合あるいは地域商社における雇用者数（人）	0人（令和2年度末） →5人（令和7年度末）	0人				
会社起業数（件）	0件（令和2年度末） →5件（令和7年度末）	3件				
そば耕作面積累計(ha)	30（令和2年度末） →216（令和7年度末）	34.3ha				
商品開発数（個）	0（令和2年度末） →13（令和7年度末）	7個				

●【基本目標Ⅱ】に対する個別評価

取組	策定時	目標値	実績値	状況	進捗評価	有識者からの意見	今後の対応方針
梨栽培面積（a）	13a	65a (R7年度末)	13a	令和8年度完成を目指した50aの梨園整備計画を進行中。	C.やや遅れている	・担い手のめどは立っているか？ ・梨園の計画が進捗していることを共有できると良い。 ・果実の場合は県や町の支援がないと、収穫までの収入の面で難しい。	・梨園の場所はある程度特定できた。先に進める目途がたった状況。 ・整備に係る費用への借とt利権の支援も大きい。収穫までの無収入期間の支援を検討したい。
繁殖牛飼育頭数	29	60 (R7年度末)	27	計画策定時と比べると飼育頭数が微減。新規就農者も呼び込んでの和牛アカデミー牛舎建設計画を検討中。	C.やや遅れている	・牛舎の建設となると地元の協力が不可欠。	・創生計画の委託事業者が、地元の畜産家とともに事業を進めているところ。いろいろな関係者との横のつながりをつなげている段階と把握している。
法人営農組織数	3	6 (R7年度末)	4	令和3年度は1組織が法人化し、4法人となった。現在、一集落が令和5年度の法人設立に向けて話し合いを行っているほか、法人化検討中の集落も一つある。	B.順調	・特になし	・順調に増えており、設立に向けて話し合いを行っている集落もいくつかある。
地域内消費額	273,751千円 (R2年度末)	349,383千円 (R7年度末)	278,118千円	2年度比で微増であるが、3年度目標値（287,438千円）には達していない。また、コロナの影響が出る前（平成30年度350,012千円）と比較すると2割減少している。	C.やや遅れている	・今後も20%プレミアム付きの地域振興券を継続されたい。 ・マイナンバーカード取得者に、町内商品券の配布も有効な施策であったと思う。	・経済対策をしていかなければならないと考えている。 ・マイナンバーカードの取得メリットについて、高齢者にはわかりにくいところ。経済対策も兼ねて、商品券というわかりやすい形で配布したところ。
チャレンジ支援事業累計利用者数	5件	15件 (R7年度末)	9件	令和元年度は3件、2年度は2件の交付をした。順調に進んでいる。	B.順調	・具体的にどのような事業に交付されたのか記載いただきたい。 ・利用された事業者からは非常に助かる旨の話を聞いている。金額が増えればなお良い。 ・「起業チャレンジのまち」といった売り出し方もある。 ・県のサイクルツーリズム施策に関するショップも町に新たにできた。環境観光の推進に通じる。 ・「チャレンジできる町」というのは非常に可能性があるということ。起業を応援するというのは町の大きなPRとなる。 ・町外から来られた企業等の力をかりるなどして、子どもたちの起業やプログラミングの学習とかできるとよい。	・各家庭まで光ケーブルが届いているおり、空き家の建物もあるため、通信環境整備費用が割安になる。最初の投資の部分を応援することでさらなる企業につなげたい。 ・起業できる方は、それ以外の仕事もしていただける可能性がある。地域生活の質の向上が期待できる。 ・学校でもICT教育をしている。起業する人たちのリソースが子どもたちと結び、相乗効果を図りたい。

新規就農者数累計	0人	2 (R7年度 末)	0	野菜・果樹・酪農の新規就農予定者がそれぞれ1人ずつ研修により技術習得中。野菜の新規就農予定者は令和5年度に就農予定。果樹・酪農の新規就農予定者は令和10年には就農予定。	C.やや遅れている	特になし	
ジビエ加工品販売額	1,246千円	3,000千円 (R7年度 末)	2,729千円	運営組織の令和3年度売上計画2,400千円を達成した状況。	B.順調	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと販売が拡大する可能性があるものと思われるので、大事にされたい。 ・販売チャンネルを検討されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジビエ加工の運営母体に解体の専門家がおられ、その人のコネクションでの販売が大きい。捕獲量が足りず、断る状況でもあり、上い調子だったのが横ばいの状態である。
道の駅奥大山来客者数	16.6万人	26.6万人 (R7年度 末)	16.4万人	コロナ禍の影響で、来客が増加していない。	C.やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、呼び込むための施策を考慮しておられるか。 ・高速道路から寄られても乗り継ぎ料金が発生しないサービスも好影響で、高速道路に多くの看板が立っている。集客につなげられたい。 ・道の駅と同じ地域に住宅と建地域交流拠点施設建設も予定されているので、それとの相乗効果で集客につなげられたい。 ・晩御飯が食べられる時間までの営業時間について検討されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・呼び込むための催しは打ちだしにくい状況が続く。しかし、コロナが今より厳しい状況の時は、駐車場が溢れるくらいの来客者があった。駐車場の拡大については、検討したい。 ・ECでの販売で売り上げを拡大できないか検討している。

【基本目標Ⅲ】 地域人財の育成

指標	目標数値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ふるさとへの愛着を抱く子ども（中学3年生）の割合（％）	66％（令和2年度末） →90％（令和7年度末）	95				
地域運営組織数	0件（令和2年度末） →3件（令和7年度末）	0				

●【基本目標Ⅰ】に対する個別評価

取組	策定時	目標値	実績値	状況	進捗評価	有識者からの意見	今後の対応方針
まなびや縁側（公設塾）の江府町出身受講生徒数	0人 (R2年度末)	16 (R7年度末)	1	公設塾が日野町（根雨）にあるため、米子方面から江府町に帰宅する高校生が根雨まで通塾するには時間がかかり敬遠されがちである。また、江府町出身の日野高校生は少なく、周知しても友人関係が通塾していないといった事情もあり、江府町からの受講生が少ない状況である。	D.遅れている	・子どもの数の推移からすると、目標値の達成が難しいのではないかと。 ・民間の塾に比べて安く学力を保证するような価値を出されたい。 ・1人1台端末を持っているような状況なので、オンラインで配信したり、オンデマンドで見たい時に見るなど、集まって「居場所」のようになることはもちろんのこと、ハイブリッド方式も検討されたい。	・日野郡3町にそれぞれ公設塾の拠点ができ、それぞれ独自の運用をしている。これから中学校を卒業した地元の高校生が、増えてくるのではと期待している。 ・江府町はもう一つ公設塾がある。ハイブリッド方式も含め、いろいろなタイプの塾を目指したい。
将来は江府町に住みたいと考える児童・生徒の割合	- (R2年度末)	100% (R7年度末)	-	アントレプレナーシップ教育事業によるアンケートによると「将来江府町に住む、住まない関わらず、町のために何かしたいと考えている生徒」は60%いる。こういった児童・生徒の割合を増やしていきたい。	D.遅れている	・アントレプレナーシップ教育とは、具体的にどのような勉強をしているのか？評価数字が出ていないが、毎年度何かしらの指標数値があった方がよい。	・町の課題について勉強し、それを自分たちのアイデアで解決していくことをやっている。その結果を「中学生議会」で質問し、町の施策に活かすよう努めているところである。 ・何かしらの数値、目標値を示すようにしたい。
奨学金返済支援制度累計利用者数	1人 (R2年度末)	6人 (R7年度末)	2	着実に年に1人増加している。	B.順調	・非常に良い制度だと思う。ぜひこれをきっかけに江府町に来てもらいたい。 ・奨学金返済支援の制度が広く知られていないのではないかと。	・支援の増額も検討している。江府町に住んでもらえるきっかけになる要素の一つとしてPRをしたい。
地域運営組織累計設立数	0 (R2年度末)	0 (R7年度末)	0 (R3年度末)	令和3年度から米原地区（大河原、吉原、西成、袋原）区長他2名で、「米原地区を次世代につなぐ」をテーマに、自立した持続可能な地域となるための収益性のある広域の地域運営組織の可能性について検討している。しかし、参加者もその必要性を感じてはいるものの、マンパワーの問題、リーダーシップをとる人材の不足から中々前向きに議論が進まない印象がある。 意見交換開催数 R3年度3回	C.やや遅れている	・地域の旗振り役を確保することが難しい。高齢化になって時間はあるのだろうけど、いざやるかとなると腰はあがらない。 ・住民同士で意見を交わす機会が減ってきている中で、各個人に思いはあるのだろうが、意見の集約などこまねいている方もおられるはず。意見を交換する場、集約する場を提供してあげることが必要。	・成功例の一つとして、地域に入り込んで一緒に事業を進めるスーパー公務員のような存在もあるが、それはなかなか難しい。できれば、地域の中にやろうとする人がいて、それを応援する人がいて、それに町の支援が加わって動いていく、そういう形を目指したい。 ・うまく地域運営できるところは、やはり中心になって動ける人がいる。役場主体では、役場が手を引けば続かない。中心になる人、リーダーになる人、そこに至るまでの応援を積極的にしていくべきと考えている。